



糖尿病と歯周病

—その密接な関係—

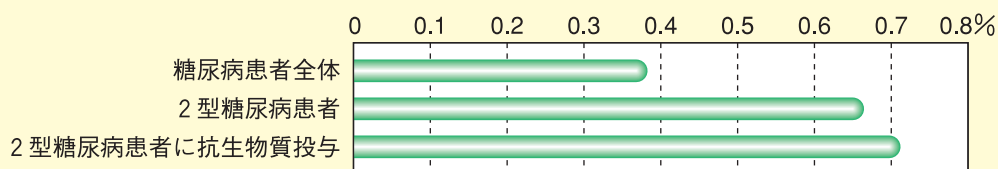
最近、糖尿病と歯周病の密接な関係が注目を集めています。糖尿病では歯周病にかかりやすく、また、歯周病の状態が悪いと血糖コントロールに悪影響を与えることが明らかになっています。

歯周病は糖尿病を悪化させる一因です

歯周病原菌の菌体表面のリポポリサッカライドがマクロファージに貪食された時にサイトカインの一種であるTNF- α が産生され、これがインスリンの活性を障害し、血糖値のコントロールを悪くすると言われています。糖尿病と歯周病が合併し、歯周病が重度な場合に糖尿病の予後が悪くなるという報告や、歯周病を治療すると糖尿病が軽快した報告があります。

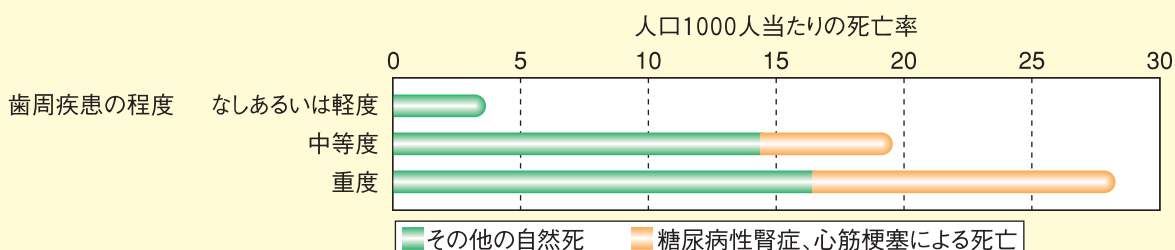
糖尿病の患者さんの経過が思わしくない時に、口の中を診て歯肉の腫れや出血、口臭が気になる場合には、かかりつけの歯科医で診てもらおうように勧めてくださいをお願いします。

■ 歯周病治療によるHbA1cの減少率 (J.Dent.Res.Vol.84 2005 p1154 Janket他)



定期的な歯石除去等歯周病治療を継続的に受けることはHbA1cをコントロールする有効な方法です。抗生物質投与では経口血糖降下薬投与と同等の効果があります。

■ 糖尿病患者の死亡率 (Diabetes Care Vol.28 2005 p29 Saremi他)



糖尿病患者で歯周病が進行すると死亡率が大幅に増大し、糖尿病性腎症、心筋梗塞が原因で死亡するケースでは歯周病との関わりが死亡率の約4割になります。